



資料 3 - 2

新潟県 松之山温泉の取組事例

松之山温泉合同会社まんま 設立の背景とその後の展開

平成28年12月17日

一般財団法人
新潟経済社会リサーチセンター



松之山温泉合同会社まんま

- ★平成20年4月設立。同年5月に第三種旅行業登録。
旅館・土産物店の経営者、一般市民など16名が出資し、
資本金361万円で設立。
- ★オプションツアーの企画・販売とお土産品の企画・販売
などに取り組む。





オプションツアーの企画・販売

★「心美人ハイキング」「里山の達人タクシー」
「うちの田舎へいらっしゃい」「山菜パーティー」
「冬の美人林スノーシュー」「米粉バゲットの囲炉裏焼き」
など各種オプションツアーを企画・販売。





お土産品の開発・販売

- ★松之山温泉を活用した「松之山温泉ミスト」「松之山温泉フェイスマスク」「松之山温泉入浴錠」を開発・販売。
- ★味噌、酒粕、しょうゆの実、しおのこの4種類の発酵食品を混ぜ合わせて作った「まんまの味」を開発・販売。





料理メニューの共同開発

★棚田の風景を鍋に見立てた「**松之山温泉 棚田鍋**」や、昔からある伝統食と地元の食材をアレンジした夕食の前菜料理「**まんまの前菜 温故知新**」、味噌と粕を使った調味料「**発酵美人 Misoccus みそっかす**」などを共同開発。





朝ごはんプロジェクト

- ★四季を通して、地元食材を使った朝食の一品を温泉地の旅館全体で統一して提供しようとするプロジェクトを開始。
- ★松之山温泉の7軒で始めた取り組みは現在、県内の22地域139軒に拡大（にいがた朝ごはん 2013・秋 現在）。





販売促進に関する研修会の開催

★チラシ、ダイレクトメール、手書き看板、手書きPOP広告、Website、blog、動画などを使った情報発信方法に関する**研修会の定期的な開催**。単に聞くだけではなく、具体的な実践と、その内容の発表にまで挑戦。





温泉の有効活用

★温泉を使ったバイナリー地熱発電の実証試験がおこなわれることに併せて、観光交流施設である古民家が整備されたことから、温泉の熱で調理する「湯治豚」を使った体験プランの企画などにも取り組む。

